

障がい者の受け入れのポイント



1 障がい者と働く職場づくりのポイント

(1) 仕事や職場のルールを明示しましょう

安全・衛生管理や秩序・規律維持のために必要なルールは、口頭で伝えるだけでなく、掲示するなどして、いつでも全員が見えるようにします。

(2) 作業工程を細分化しましょう

障がい者に限らず、複雑な作業よりも単純な作業の方が対応しやすいものです。農業経営体が知識・経験に基づき行う一連の作業も、複数の作業に分割し単純化することで作業しやすく、作業指示も容易になります。

(3) 経験に基づく判断基準を見える化しましょう

収穫を判断する色味や、調製仕分けの大きさ、重さの範囲など、経験によるあいまいな基準は、色見本やスケールを作成し、これと対比することで判断しやすくすることができます。

(4) 支援や相談ができる仕組みをつくりましょう

従業員をOJT担当に充て、障害者就業・生活支援センターとも連携してサポートしている事例があります。専任担当者がいなくても、近くの従業員が日常的に話しかけ、気軽に相談できる雰囲気づくりも有効です。

(5) 安全で快適な職場環境をつくりましょう

生産現場の整理整頓や段差解消、休憩室やトイレの整備などは、障がい者に限らずより安全で快適な職場環境につながります。

<活用できる主な支援制度>

支援制度	窓口	内容	補助率(上限)	実施主体
障がい者農の雇用モデル支援事業(農業施設改修助成)	(一社)岐阜県農畜産公社	障がい者の作業環境改善(バリアフリー化・安全性の確保・作業の効率化)を目的とした機械器具の購入、機械施設の簡易な改修	1/2以内(50万円)	障がい者を受け入れている農業経営体、農業参入する障がい者施設

2 障がい者とのコミュニケーションのポイント

(1) 相手の人格を尊重し、相手の立場に立って対応しましょう

思い込みや押し付けではなく、相手の意思を確認し、同じ高さに視線を合わせ、明るく、丁寧に、わかりやすく対応します。また、子ども扱いした言葉は使わないようにします。

(2) 障がい特性を理解しましょう

障がいの種類、程度や症状は一人ひとり異なるので、配慮が必要な内容はそれぞれ違います。外見ではわからないことも多いので、どういう配慮が必要かは個別に確認し、職場で共有します。

(3) 特別扱いはしないようにしましょう

障がい者を受け入れている企業インタビューで耳にするのが特別扱いをしないということです。障がいのあるなしにかかわらず、全員が仲間というスタンスが重要です。

(4) 感情的に叱らないようにしましょう

感情的に叱りつけることで、それ以降コミュニケーションが取れなくなったり、その作業ができなくなったりすることがあります。何がいけないのか丁寧にわかりやすく説明し、理解してもらうことが重要です。

(5) 休憩・服薬の声掛けをしましょう

作業に集中し、休憩も取らずに続けることもあるので、休憩や服薬の声掛けをすることが必要です。